

ニュースリリース

「世界初のマルチスレッド対応のソルバ(DiffractMOD、BeamPROP、FemSIM、ModePROP)をサポートする Version 9.0」

日本アールソフトデザイングループ株式会社(代表取締役社長 尾崎透徹 東京都港区芝1-9-6)は米国RSoft Design Group, Inc.(RSoft社)が開発しました光デバイス設計・シミュレーション・ソフトウェア RSoft Passive Component Design Suite Version 9.0の販売を2012年4月18日より開始いたしました。価格は135万円から、初年度販売見込み200本、主に光ファイバ/レーザ・メーカー、太陽電池/光学材料/光部品/光半導体メーカー、デジタル家電/光学機器メーカー、WDM/SONET/SDH装置メーカー、光関連研究機関、大学等に拡販する予定。

最新の複雑なナノ・テクノロジーやLED/有機ELなどの微細な光学部品の開発では、生産性の向上、開発期間の短縮が不可欠です。マルチスレッド対応をサポートしたVersion 9.0では、高速且つ大規模なシミュレーションが可能です。また、3次元遠方界表示でLED取り出し効率の解析もより正確に行えるようになります。

RSoft Passive Component Design Suite Version 9.0の主な新機能

- マルチスレッド対応で3次元大規模モデルの解析を高速化した RCWA 法ソフトウェア: DiffractMOD
 - マルチスレッド対応で3次元大規模モデルの解析を高速化した BPM 法ソフトウェア: BeamPROP
 - セミベクトル解析機能の改良による高屈折率差解析機能の強化: BeamPROP
 - 任意スライス位置による、データ出力機能の追加および出力データのコンパクト化を実現: BeamPROP
 - マルチスレッド対応で高速化した有限要素法解析ソフトウェア: FemSIM
 - 新しいメッシュ生成機能で解析精度を改善: FemSIM
 - 曲げ解析機能で屈折率等角写像法と曲座標モード解析をサポート: FemSIM
 - マルチスレッド対応で高速化した EME 法ソフトウェア: ModePROP
 - 3次元計算アルゴリズムの改良により、メモリ利用効率、計算時間の大幅短縮を実現: ModePROP
 - 3次元遠方界の表示機能と計算アルゴリズムの改善
- RSoft Passive Component Design Suite Version 9.0 は Windows XP SP3/Vista/7、Linux 環境で稼働します。
● 記載されている社名や製品名は各社の登録商標または商標です。

より詳細な情報は

日本アールソフトデザイングループ株式会社

〒105-0014 東京都港区芝 1-9-6 マツラビル 2F

電話: 03-5484-6670 FAX: 03-5484-2288

URL: <http://www.rsoftdesign.co.jp/>

Email: akagi@rsoftdesign.co.jp

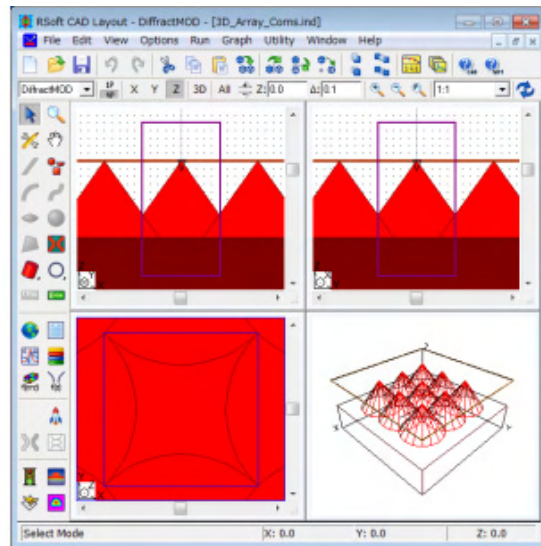
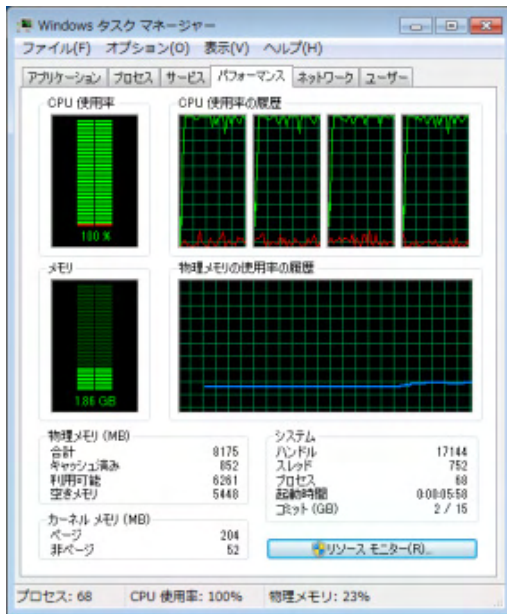


図 マルチスレッド対応で3次元大規模モデルの解析を高速化した DiffractMOD

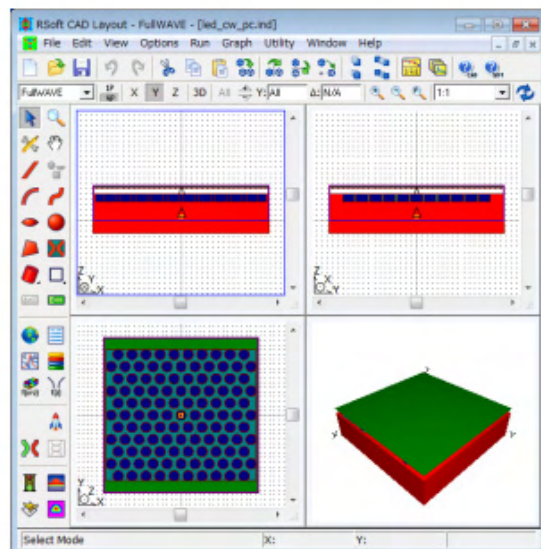
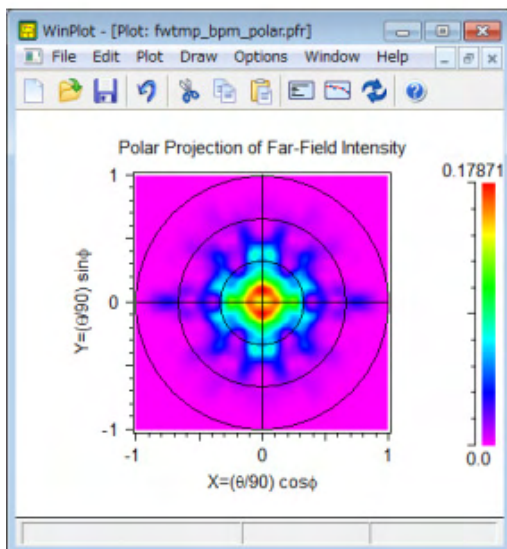
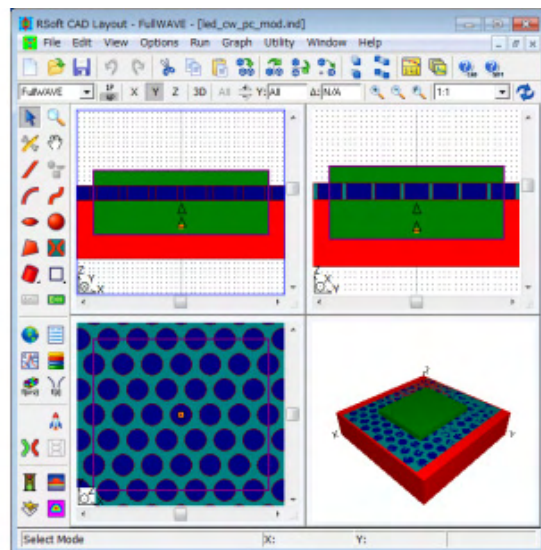
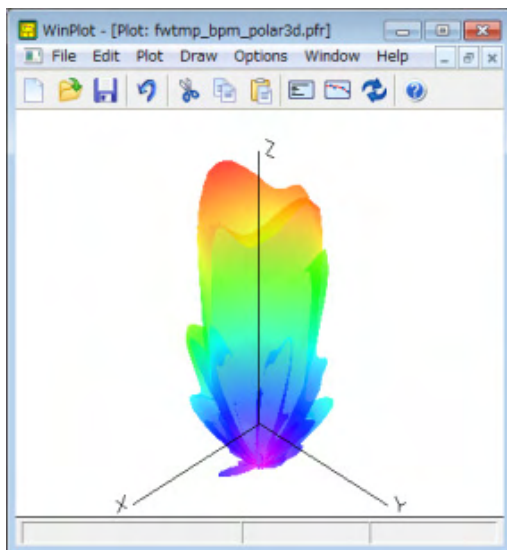


図 LED ユーティリティによる光取り出し効率の解析と3次元遠方界の表示